

令和5年度救援物資輸送拠点運営訓練の実施について

1 要旨・目的

大規模災害が発生した際に救援物資を適時適切に避難者（避難所）に供給することができるよう手順確認をするため、防災拠点施設で実施した訓練の実施状況を報告する。

2 現状・背景

大規模災害時には、被災地方公共団体の行政機能の低下が想定される中で、物資拠点の円滑な開設のみならず、最終目的地である避難所まで物資を確実に届けることが重要であり、関係機関が一体となって、物資輸送の最適化を図ることが求められている。

そのため、関係機関が連携し、資機材や備蓄物資等を迅速かつ円滑に搬出するための定期的な訓練の実施が重要である。

3 概要

日時	令和5年11月6日（月）
場所	防災拠点施設（三原市本郷町善入寺 94-22）
参加機関	広島県（危機管理課、健康危機管理課、西部東厚生環境事務所） 広島県トラック協会、中国運輸局
内容	【机上演習】 地域防災計画及びマニュアルに基づく救援物資搬出手順の確認 ・救援物資輸送の全体像の把握 ・災害対策本部と備蓄倉庫の役割分担等の確認
	【実働訓練】 実働による救援物資搬出手順の確認 ・資機材及び備蓄物資保管場所の確認 ・救援物資の仕分け作業 ・トラックへの積み込み
	 【備蓄物資保管場所の把握】
	 【救援物資の仕分け作業】
	 【トラックへの積み込み】

4 今後の対応

今後も継続して訓練を実施し、防災拠点施設における救援物資輸送の運営体制の強化を図る。